

大学の世界展開力強化事業 取組実績 立命館大学

【構想の名称】(タイプAー I CAMPUS Asia Pilot Program)

東アジア次世代人文学リーダー養成のための、日中韓共同運営トライアングルキャンパス

【プログラムの目的・養成する人材像】

日中韓の言語に長け、その文化・文学・歴史等に深い理解力を有し、そこに横たわる諸問題を人文学的知見から洞察・分析して具体的な解決を図り、日中韓を舞台とする企業、公共機関等で活躍できる国際的リーダーの育成を目指します。

【構想の概要】

平成15年以降築いてきた広東外語外貿大学(中国・広州、以下 広東外大)、東西大学校(韓国・釜山、以下 東西大)とのネットワークを基に、各国でパイロット学生を選抜し、移動型キャンパスを核とした4年間のカリキュラムを共同で運営します。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 三大学合同教職員会議

H23年度12月に東西大で、2月で広東外大で三大学合同の会議を実施したほか、12月にはTV会議も行い、本プログラムのカリキュラムおよび実施体制を確認しました。

○ 運営委員会

本学の教職員で運営委員会を構成し、月例で会議を開いて、三大学合同教職員会議・TV会議と相互に連携して本プログラムの運営に関わる課題を協議しました。

○ 相談窓口の設置

中韓それぞれの言語に長けた任期制教員による相談窓口を各週1日以上、設置することで、特に移動キャンパス中のパイロット学生のサポート体制を整えました。



〈三大学合同教職員会議の様子〉

■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況



〈連携講座・春季ショートステイ中の講義風景〉

○ 日中韓連携講座・ショートステイの実施

H15年度から継続して開講している日中韓連携講座にて、H23年度の夏季は本学で、春季は広東外大でショートステイを実施し、三大学の学生20名ずつ、計60名が交流しました。(※夏季ショートステイは本事業の対象外)

○ オリエンテーション・ショートステイ実施に向けた準備状況

H24年度8月のオリエンテーション・ショートステイに向け、シラバスの確認を行ったほか、中韓の語学カフェを設け、学生に対する語学のフォローを行っています。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

日中韓連携講座・春季ショートステイにて20名を1週間、広東外大へ派遣しました。

	H23	H24	H25	H26	H27
日本への受入		C40,K35	C30,K30	C30,K30	C20,K20
中国への受入	K20,J20	K25,J30	K30,J30	K10,J10	K20,J20
韓国への受入		J45,C40	J10,C10	J30,C30	

注)H23は実績、H24以降は計画。



〈連携講座・春季ショートステイの集合写真〉

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ CAMPUS ASIA CAFEの開室

パイロット学生に限らず、日中韓に関心を寄せる本学の学生や留学生の交流スペースとして同CAFEを開室しました。同CAFEでは中韓基礎文献を配架したほか、週に4日語学カフェ(語学講座)を開き、学びや交流の場として活用しています。

○ 任期制教員・専門職員の配置

中韓それぞれの言語に長けた任期制教員2名に加え、CAMPUS ASIA OFFICE(事務室)を新設し、本プログラムに専門で従事する職員3名を配置することで、学生のサポート体制を充実させました。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ 広報パンフレットおよび『日・韓・中連携講座報告集』の作成

本事業概要をわかりやすくまとめた広報パンフレットや、学生のレポートを中心とした日中韓連携講座ショートステイ報告集などを作成し、学内外に対する本プログラムの説明・普及に役立てている。

○ キャンパスアジア・プログラム専用HPの開設

本プログラム専用のHPを開設し、概要説明のほか、説明会や語学カフェ、相談窓口設置等のニュース配信、ブログを通じた教職員からの情報発信・公開を行っている。